
2008年度 おやし東京
当日資料

Jun 20 , 2008

平成20年3月23日(日) おやじ東京2008

主催：おやじ東京共催：東京都青少年・治安対策本部
後援：東京都教育委員会 心の東京革命推進協議会
協力：おやじ日本



今の世の中、家庭・学校・地域で、さまざまな人間関係のトラブルが一杯です。
誰かを犯人として責めるだけでは、問題はなかなか解決できそうにありません。
おやじ東京は、子育てと地域に関わろうとする「おやじの会」有志が集まって、家庭・学校・
地域で、より良いコミュニケーションを作り出すために、皆さんとともに学び・考える場を
設けます。

大会・シンポジウム「13:30～都民ホール(都議会棟1階) 受付13:00)」

クレームから相互理解を目指して

★ 基調講演 教師を振り回す親たち

諸富祥彦 明治大学教授

(「子どもよりも親が怖い「モンスターペアレント」読者)

★ シンポジウム

みんなで考えよう！大人は子どもの手本？ それとも反面教師？」

最近、自己中心的な無理難題を主張する困った大人や、学校を悩ませる保護者の問題が
マスコミでよく取り上げられます。

それは一部の人だけの問題でしょうか？ もしかすると私たち自身も、家庭や地域や職
場で、お互いの「わかり合えなさ」に困っていることが多いのではないのでしょうか。

【シンポジスト】

町田市立堺中学校・武内愛樹校長、世田谷区立駒沢中学校・草間宣品教諭、
石橋昌祐(損害保険会社のクレーム担当者)、田中郁子・町田市青少年委員
(社)東京都小学校PTA協議会・新谷珠恵会長、(順不同)
会場の皆様とともに考えていきます。

申込み・おやじ東京事務局 FAX 03-3887-2980 メール info@oyaji-tokyo.org

詳しい内容は、おやじ東京のホームページをご覧ください。参加申込書もあります。

→ <http://oyaji-tokyo.org/from2005/index.php>

おやじ東京

* 目次 *

1/ おやじ東京大会2008・大会とシンポジウム次第

資料：

2/ - 「モンスターペアレント!? 親バカとバカ親は紙一重」 (諸富祥彦先生著・アспект) より

3/ - 「クレームから相互理解を」に寄せる想い

4/ おやじ東京 概要

5/ おやじ東京の活動

6/ おやじ東京 規約

8/ 2008年大会資料(活動報告、計画)

平成 20 年 3 月 23 日 (日) 13 : 30 ~ 17 : 00

会場 : 都庁・都民ホール 司会 : 石綿 晃

第一部 おやじ東京大会式典 大江戸ダンスで開幕

開会 (司会) / 主催者挨拶 (会長 ; 脇山 幸之)

共催者挨拶 : 久我 英一 東京都青少年・治安対策本部長

来賓挨拶 : 金子 良江 新宿区教育長

来賓挨拶 : 竹花 豊 東京都教育委員・おやじ日本会長

第二部 基調講演

基 調 講 演「教師を振り回す親たち」
諸富 祥彦 明治大学教授

(休憩)

第三部 シンポジウム 「クレームから相互理解を目指して」

コーディネーター : 諸富 祥彦 教授

シンポジスト (発言順序などは変更があります)

「学校からの報告①」

武内 愛樹 町田市立堺中学校校長

「学校からの報告②」

草開 宣晶 世田谷区立駒沢中学校教諭

「保護者の思い①」

田中 郁子 町田市青少年委員

「保護者の思い②」

新谷 珠恵 東京都小学校 PTA 協議会会長

「企業のクレームの現場から」

石橋 昌祐 損害保険会社社員

会場とのトークセッション

第四部 大会議事 : 活動方針・役員提案等

活動報告・活動方針発表

役員提案・規約改正 等

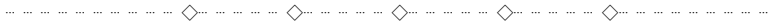
閉会の言葉

◎ 交流会 17 時 15 分 ~ 隣のレストラン (当日参加申し込み可)

おやじ東京

- 保護者会やPTAなどの集まりのあとに、「ちょっとお茶でも飲んでいかない？」と親御さんたちは連れだってファミリーレストランに入ります。…ファミリーレストランにはドリンクバーがあります。…べちゃくちゃおしゃべりしているうちに、だんだん盛り上がってきます。最初はお互いの子どもの話をしている、2杯目の途中くらいになると、子どもの話も尽きてくる。すると、始まるのです。「そういえば、今度の担任、どう思う？」「ちょっと、さえないね」「うん、さえない、確実にさえない」みんな、うん、うんとうなずきます。「はっきり言って、辞めてほしくない？」「辞めてほしいよね」「うん、ほしい、ほしい」このあたりになると全員、興奮してきて身を乗り出し、声も大きくなる。「じゃあさ、辞めさせちゃわない？」「え、そんなことできるの？」「よくわかんないけど、きっとできると思うよ」「そうか…そうね、子どもたちのためだもんね」「そうそう、みんながんばろうよ」集団意識というのでしょうか。一人ひとりとはさほど問題にしていなかった場合でも、みんなで話をしていくうちに「教師についての重大な問題」がファミレスで“生産”されるのです。まさにドリンク・バーこそ教師の敵!! 単なる親御さんどうしのおしゃべりが、“緊急保護者会”へと発展していくのです。…教師退治の会議は、家に帰っても続きます。今度はメール会議です。…子どものいじめについてもメールは問題になっていますが、メールでは相手の顔が見えないぶん、直接会って話すときより感情的になって、発言がどんどん過激になります。…こうして、茶のみ話の延長で「そういえば」から始まった話が、いつのまにか“担任おろし”になってきます。実際、メールリングリストを使っての会議の結果を持って、数人の親御さんが校長室を訪れ、「○○先生を担任からおろしてください」と申し入れてきた小学校はいくつも存在するのです。
- 日本経済の狂乱の時代、バブル景気は1989年ごろから弾けだし、崩壊が決定的になり深刻な社会問題ととらえられ始めたのが、1993年と言われます。私の見るところ、学校の子どもたち、その親たちが変化し始めたのもそのころからです。…それまでは、多くの親たちにとって学校は、どこか「子どもを人質にとられている」ような感じのする、敷居の高い場所でした。たとえ子どもが悪さをして教師から呼ばれても「すみませんでした。以後、こんなことがないよう、子どもに厳しく言って聞かせます。こら、マサル、おまえも先生に謝りなさい!!」というのがあたりまえでした。…それが1995年あたりを境に、親御さんも教師に立ち向かい、言うべきことを言うようになってきました。…教師や学校が垣根の低い存在になってきたことじたいは、とても望ましいことだと私は思います。しかし、そうした流れの中で、「ウチの子が悪さをしたのは、あんたたちの態度が悪いからだ。あんたたちが謝れ」という親御さんも出てきてしまいました。…教師や学校には、どんどんイチャモンをつけていい。「私たちは教育サービスの消費者、つまり客なのだから、文句を言って、注文をつけて当然だ…」という風潮が、親御さんのあいだに急速に広がってきつつありました。…そしていま、親御さんのモンスター化は速度が増し、その内容もますます過激になっています。…最近のクレームは、教師や学校への単なるイチャモンだったり、よしんば親心からくるものであっても、クレームのつけ方が激しく、重く、しつこい。よく、百貨店などに執拗にクレームをつけ、それが営業妨害にまわってしまう悪質なクレマーの話は聞きますが、学校で起きていることも同じです。
- かつて、教師にとって子どもの親は、子どもの教育に関わって協力態勢を敷く“よきパートナー”でした。そうした関係に支えられて、教師の側にも、教師としての自信が育まれていたように思えます。それは、親御さんと教師のどちらが上か、下かということではなく、教育のプロとしての自信です。ところが、いまやそうした関係性を支えてきた“教師の権威”そのものが失墜してしまいました。むしろ、親や子どもが教師をコントロールするようになってしまったのです。…親が教師に言いたいことも言えずにいたかつての状況に比べれば、学校が親達にとって、ものを言いやすい場所になったことじたいはいいことだと私は思います。しかし、…「ものを言いやすい」と「言いたい放題」は違います。

- 多くの教師はいま、たいへん厳しい状態に置かれています。その教師を、クレームなどでさらに追い詰めていくのは得策ではありません。両者が対等に話せるようになったいまだからこそ、親御さんが教師と手を結んでいただきたいと思います。教師を支え、バックアップすることで、お子さんのいる学校をよくしていこうというスタンスをとっていただきたいのです。そうすれば、教師も心にゆとりをとり戻して、子どもの教育という本来の仕事に専念できるようになるでしょう。
- 私がコミュニケーションにおける“三種の神器”と呼んでいるのが、「ごめんね」「おねがい」「ありがとう」の3つの言葉です。この3語がたくさん出る家庭がいい（ぜひ、紙に書いてリビングにでも張っておきましょう）。子どもに対して非があれば「ごめんなさい」。何かしてほしいことがあれば「お願いね」。何かしてくれたら「ありがとう」。あたりまえのようですが、家族だからこそ、この3つの言葉を夫婦間、親子間で交わすのは、なかなかむずかしいものです。支配的な親御さんになると、子どもさんに対してこの3語をまったく使わないのではないのでしょうか。まずは、夫婦のあいだで、意識してこの3語を使ってください。



「クレームから相互理解を」に寄せる想い

おやじ東京会長 脇山 幸之

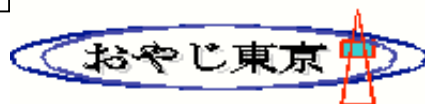
今、至るところでコミュニケーションがうまくいかない、と嘆く人が多くなっています。まず、ルールを守らない、あるいは意見を主張するときも度が過ぎてしまう。たとえば酔っ払って駅員に暴言を吐く、挙句の果てに殴りかかるような犯罪まがいのトラブルも数多く発生しています。樹木の枝が塀を越えて伸びてきたとき、隣人同士で話し合わずに、役所に仲裁を申し出るなどなど。何でもお金が尺度の主張がまかり通って、その結果何かあると「賠償しろよ」…。クレーム社会と一言で片付けられていますが、これまでと何が変わってしまったのでしょうか。今まさに、私たちの社会が迷宮のようになって、そこから抜け出せない感じがあります。でもみんな気付いているのではないですか？ もう少し上手にコミュニケーションが取れば、大半の場合は解決できると。

本日この場で取り上げる問題も、ほとんどがちよっとしたすれ違いから始まっています。おやじ東京は、子どもの健やかな成長を願う立場でこの問題に取り組んでいます。そこでは、【子どもは一人では育たない、周りの子どもと一緒に育つのだ】ということに気付いて欲しいと思います。子どもに関わる大人たちも、まず自分自身の足元の家庭や地域を大切に、意思が十分通じ合える関係を築いていく必要があるのではないのでしょうか？ 学校や地域社会で起こっている理不尽な要求を減らし、さらには発生防止のため、意思疎通がしやすい関係づくりを目指そうではありませんか。本日、ここで話し合っていくことは、ささやかな試みですが、この活動を全国に向けて展開し、いつか私たちの社会に【生き活きたコミュニケーションの輪】を作り上げようではありませんか。

ギリシャ神話で、クレタ島のミノタウロスがいる迷宮に入ったテセウスが、アリアドネにもらった麻糸を頼りに無事に戻ったという話があります。出口の見えない社会の迷宮に必要な糸は何でしょうか？ 出口を見出し、より良い社会を築き始めるには、何が必要でしょうか？ 学校からも・地域からも・怒声ではない、にこやかな声が聞こえてくる社会にたどりつくための糸を持っているのは、そう【あなた】です。

おやじ東京

家庭や地域にかかわろう・子どもをのびのび育てよう！



こどものためにできることを
83運動推進中



「おやじ東京」は、都内各地域「おやじの会」有志が集い、子どもと家庭・地域
き合おうとする父親を応援し、生き生きとした地域の「おやじ」集団のために活動
しています。

平成 19 年度おやじ東京活動方針

都内おやじの会のネットワークづくりを強化しよう！
仕事について若者と話し、「中学生の職場体験」を応援しよう！
安全・安心なまちづくりに貢献しよう
家庭のあり方を考え、主体的に関わろう

同時に、父親集団の力を活かした子どもの健全育成や、安全・安心なまちづく
貢献を目指して 東京都が運営する次の4つの会議のメンバーとして活動してい

<p>心の東京推進協議会 「心の東京推進」が推進する青少年健全育成 を目的とし、親、民間、民間団体及び企業、並びに 東京都、関係行政機関に連携し、幅広い教育 活動の推進に貢献することを目的とし、平成 19 年1月に設立</p>	<p>東京子ども応援協議会 都庁、区市町村、事業者、青少年健全育 成団体など連携して、青少年の健全育成に 取り組む社会的な推進体制をつくるため、東 京都青少年の健全育成に関する関係、に基 づく、平成 19年4月に設立</p>
<p>東京都安全・安心まちづくり協議会 東京都、国、県、まちづくり協議会等が、都 民の安全確保として、都、区市町村、親、 事業者、地域団体等）と連携し、平成 19年1月に設立</p>	<p>中学生の職場体験推進協議会 東京都に当たる「中学生の職場体験」推進の円 滑な推進を図るとともに、創発的な賛助を行っ たことを目的として平成 19年1月に設立</p>

おやじ東京役員

【会長】 脇山幸之

【副会長】 我妻弘（広報担当）、石綿晃（規約・組織担当）、石橋昌祐・江川武吉（都内
ネットワーク担当）、加藤茂行（渉外担当）、前田純一（連携担当）（50音順）

【監査役】 前田義昭・小池英仁 【事務局長】 小宮操 【会計】 石川礼子

おやじ東京 URL : <http://oyaji-tokyo.org/from2005/index.php>
E-mail : info@oyaji-tokyo.org

おやじ東京

おやし東京は、こんな活動をしています

父親よ、子どものつぶやきに耳を傾けよう。子どものいる学校へ出かけよう。
子どもが育つ地域へ、もっと足を運ぼう。不器用でも、口下手でも、子どもに思いを伝えよう
そして、子どもとともに楽しもう 家庭だけでなく地域の「おやし」になろう。
地域の「おやし」たちと手をつなごうおやし、出番だ！ (平成 16 年設立時のアピール = 原点です)

☆ 毎年3月の大会に合わせ、親子で街を歩きながら学ぶ「キャンペーン」を展開してきました



新宿キャンペーン (18.3.26) →歌舞伎町にて 池袋キャンペーン (19.3.25) →池袋西口公園

☆ 地域の安全・安心のため、都内各地域で安全マップづくりを実施・応援してきました。



おやし東京主催による「安全マップ in 品川」(18.11.11) →品川区立三木小にて

☆ 若者と話し合うトークイベントは、現在なお発展中です。あなたも参加しませんか？！



「おやしに聞こう！仕事のこと」(19.2.25) 「異世代コミュニケーション おやし×学生」(19.10.6)

以上